

# 体験ひろば☆ こどもスペース四日市 子育て応援新聞



発行：NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市  
〒510-0961 四日市市波木町2040-2  
TEL&FAX 059-321-0883  
e-mail space@m4.cty-net.ne.jp

ホームページでもご覧になれます  
右のバーコードリーダーから  
お入りください

facebook 更新中



パズルOBもスタッフで参加



飛んでけ〜!!

この後、ドアの車輪にハプニングが…!

## ダンスパフォーマンス PUZZLE

8月10日  
塩浜ヘルスプラザ

1回目と2回目の公演  
の間のダメ出し



通し稽古や1回目の公演と、稽古ごとに講師の井上さんからのダメ出し。初めて舞台に立つメンバーも、10年以上続けているメンバーにも、同じことを求めて話します。一人ひとり自分なりに受け止め、次に踏み出します。



## たいけん 体験 もっと体験

## オペラ 森は生きている

実行委員会だより Vol.8

「オペラ」と聞くとどんなイメージがしますか? 「イタリア語で歌い上げて、とてもかっこよくて観ないといけない、難しい劇」と思いませんか? 同じように、歌で役者の気持ちを表現する「ミュージカル」は観る人も多いでしょうが「オペラ」はなかなか観る人はいないのではないのでしょうか。

しかし、以前こんやく座の「森は生きている」を観て「オペラ」のイメージが変わりました。気持ちの込められたセリフが、曲に乗って分かりやすく入ってきて、とても感動したのです。曲も頭に残り、終わった後も口についてメロディーが流れてきました。ピアノの生演奏も衣装もすべて、帰りに、CDと楽譜を買って帰るほどのファンになり、イメージだけで判断してはいけないなと思いました。「子どもには難しいかな?」と思っている人。内容が分からなくても舞台を観たらきっと何かを感じます。まずは体験しましょう! (多田)



たくさんの人に観てもらうため、  
実行委員会を立ち上げました。

12/20 (金)  
四日市市文化会館  
第2ホール



『みんなっ  
アメリカに  
行きたいか〜!!』

アメリカ縦断 YES・NOクイズ!  
アドリブでの質問に、出演者は・・・!?  
リアルなリアクション!

## スペース☆夏まつり

8月24日  
こどもスペース四日市

この夏祭りの目玉!  
“ドラム缶風呂”



浴衣姿で、  
お祭り感アップ♪



会員の中学生や高校生、  
元会員も来てにぎやかに

2学期の始まりは子どもの自殺が「多い」ということが、何年前から問題になっていました。それを何とか止めようとして、夏休みの終わりが近づくと、新聞にメッセージが掲載したり、相談先の紹介が載っています。しかし、新聞を取っている家庭も減少している上、活字離れの若者世代にその効果はあるのかと疑問に思います。

夏休みの終わりに近づくと、またあの日々が戻ってくる、と憂鬱になる気持ちには心から共感します。いじめだけが学校に行きたくない原因ではなく、むしろ「これ」と言えないことが苦しいのではないのでしょうか。子どもは「学校」に行くのが当たり前、子どもは「勉強」をするのが仕事、何でも一生懸命やるのが当たり前、元気が明るくなければいけない、友達がいなくてはいけない…。そんな一方的な大人社会の価値観、押し付けが子どもを苦しめているのではないのでしょうか。

幼児期から大人や周りの人の顔色を見て行動する子は多く、小学校を卒業する頃には、本当の自分を見失っている子どもも多いのです。こんなに苦しい子どもが多いのなら、私たちは「子ども」の「当たり前」を疑ってみなくてはならないかと思うのです。自分なりの生き方が認められ、自分なりの努力の末に達成感が得られる、存在を尊ばれる、学校がそんな場でも、子どもたちは学校に行きたくはないのだからかと考えてしまいます。

いつも思う、学校に行きたくないという子どもがこんなにたくさんいるというのは、明らかに「学校の負け」なのではないか。フリースクールが認められてきてよかったと思う。でもそれは違う。公教育は、それで良しとしてはいけなと思う。